

キーワードは連携、気迫

渡会県議 社 五輪サーフィン誘致に意欲

豊橋市選出県議で
公明党県本部副代表
の渡会克明氏(63)
が3日、年始あいさ
つに東愛知新聞社を
来訪。5期17年目を
迎えた「重鎮」とし
て、東京五輪サーフ
イン会場の田原市誘
致、東三河環状線を
はじめとする道路イ
ンフラ促進など、東
三河活性化に貢献す

る意欲を示した。
「今年は感慨深い
年になる」と、期待
をあらわに語り始め
た渡会氏。五輪誘致
に当たっては、田原
市出身である同氏が



「今年は感慨深い年になる」と語る
渡会氏＝東愛知新聞社で

から遠いといわれる
が、競技開催は(政
府が進める)地方創

生につながる。地元
の連携、気迫がキー
ワードだ」と意気込
む。「地方創生(の旗
印)の下なら、何でも
できると思う」。

東三河環状線の整
備では、多米地区に
今春「乗小路トンネ
ル」が開通するの
続き、石巻地区から
北上して豊川に新た
な橋(当古橋―三上
橋間)を架ける計画。
県議会で何度も取り
上げ、着工を促した
という。すでに地元
説明会を終え、新年
度から用地買収に着
手するが、「何とか
(在任期間中に)着
工を見届けたい」と
渡会氏。また、三遠
南信自動車道を南下
延伸する形で国道23
号バイパスまでつな

ぐ「浜松三ヶ日・豊
橋道路」については
2年前、当時の太田
昭宏国交相に直接陳
情することで、国が
調査に動き出したと
いう。さらに「23号
バイパスから伊良湖
へと伸びる道路も必
要」と力説し、夢を
ふくらませた。

なお今夏の参院選
で、党県本部は新人
・里見隆治(ゆうじ)
氏を推す。「本当に
仕事ができる人物
だ。厳しい選挙にな
るが、自公できちつ
と勝ちたい」と渡会
氏。山本保氏落選以
後9年ぶりのリベン
ジを狙っている。
(藤田彰彦)